

令和7年度 事務事業マネジメントシート		段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価					960	ポイ捨て・犬のふん放置防止啓発推進事業				環境部	5 R 推進課
1 事業概要		中事業番号		660								所属コード	182000
政策体系		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X 推進	手段	意図（目的）	
大綱（取組）	V「暮らしやすいまちの未来」	3.9 13.3 14.1			○						ポイ捨て等防止指導員による街頭啓発や各種啓発キャンペーンにより、環境美化への関心や理解を高める。	ポイ捨てによる空き缶や吸殻等の散乱及び犬のふんの放置防止を図り、市民が快適に暮らせる環境にする。	
施策	1 環境にやさしく自然豊かな、住んでいてよかったなと思えるまち												

事業開始時周辺環境（背景）	現状周辺環境	今後周辺環境（予測）	住民意向分析
市民からポイ捨てによる空き缶等の散乱及び犬のふんの放置防止に対する苦情等が多数寄せられたことから、平成11年4月1日から「郡山市ポイ捨て及び犬のふんの放置防止に関する条例」を施行した。	重点区域でのごみ回収量が示しているとおり、ポイ捨てごみは依然として多い。近年は、使用済みマスク等社会情勢を反映するポイ捨てごみが増えている。犬散歩時のフンの持ち帰りについては、違反者に対する指導や、対策方法を求める電話がかかってくるなど、飼い主のマナー向上につながる啓発活動が引き続き必要とされている。	重点地区の一つである開成山公園がリニューアルされ施設等も一新されたことから、イベント等が多く開催されることや、犬の散歩をする市民も増加したこと等によりマナー違反者も増加していることから、モラルの向上には啓発事業の継続が必要である。	住民の意向として、犬のふん放置に対するマナー徹底の要望が多く上がっており、また、ポイ捨てについても苦情が多く寄せられている。これらのマナー違反をしないよう指導・啓発してほしいという声を受けること多いことから、自らの生活圏における環境美化および市内の衛生環境の向上に対する意識が高まっている。

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		2028年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	中間指標 2021年度	最終指標 2025年度
対象指標	対象地域の住民数	人		324,586		322,515		319,680								
活動指標①	ポイ捨て等防止指導員による啓発活動回数	回	936	732	750	672	750	766	750		750		750	750		
活動指標②	啓発グッズ配布個数	個	33,000	4,139	5,000	15,479	5,000	19,219	5,000		5,000		5,000	5,000		
活動指標③	啓発看板等設置枚数	枚	600	203	439	180	439	269	200		200		200	200		
成果指標①	空き缶、吸殻、犬のふんに関する苦情件数	件	10	3	10	5	10	6	10		10		10	10	10	10
成果指標②	指導員による可燃ごみ回収量(450袋)	袋	850	835	850	762	850	846	500		500		500	500	850	850
成果指標③																
単位コスト（総コストから算出）	看板1枚あたりのコスト	千円		27		22		24	27		27		27	27		
単位コスト（所要一般財源から算出）	看板1枚あたりのコスト	千円		27		22		24	27		27		27	27		
事業費		千円		4,989		3,251		4,971	3,709		3,709		3,709	3,709		
人件費		千円		392		798		1,377	400		400		400	400		
歳出計（総事業費）		千円		5,381		4,049		6,348	4,109		4,109		4,109	4,109		
国・県支出金		千円														
市債		千円														
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円														
その他		千円														
一般財源等		千円		5,381		4,049		6,348	4,109		4,109		4,109	4,109		
歳入計		千円		5,381		4,049		6,348	4,109		4,109		4,109	4,109		
		実計区分	評価結果	継続	改善	継続	改善	継続		継続						

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費（事業費・人件費）分析結果
ポイ捨て等防止指導員による啓発活動は、J R 郡山駅周辺及び開成山公園地区を重点区域とし、積極的に啓発活動・指導を行ったことにより活動回数が増加した。また、啓発グッズについても、啓発活動の増加に伴い積極的に配布することができ、計画を上回る実績を残した。啓発看板については、ポイ捨て、犬のふん放置防止ともにウェブ・SNS等での周知等を積極的に行った結果、配布枚数は増加した。 啓発活動回数・・・前年比124%（R5 672→R6 766） 啓発グッズ配布数・・・前年比124%（R5 15,479→R6 19,219） 啓発看板設置枚数・・・前年比149%（R5 180→R6 269）	苦情件数については、すべて犬のふんに関するものであるが、啓発看板設置件数の増加が示しているとおり、件数は増加した。（+1件） 指導員による可燃ごみ回収量は増加した（前年比+11%）が、ポイ捨て防止指導員の活動を啓発から指導へ重点を移したことにより、啓発活動1回あたりの可燃ごみ回収量が減少していることから、実質的なごみの減少につながっていると分析できる。 苦情件数・・・前年比120%（R5 5→R6 6） 可燃ごみ回収量・・・前年比111%（R5 762→R6 846）	【事業費】 ポイ捨て等防止指導員の委嘱替えの年であり、新たな被服等を支給したことから、事業費は増加した。  【人件費】 ポイ捨て等防止指導員の委嘱替えの年であり、選考委員会を組織し選考のための面接審査等を行ったため、人件費は増加した。

### 3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		4
2 公平性		4
3 効率性		4
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4

1 規模・方法の妥当性

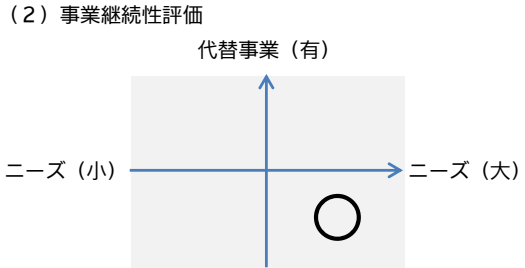
4 公平性

3 効率性

4 活動指標（活動達成度）

5 成果指標（目的達成度）

0



継続	一次評価コメント
ポイ捨て等防止指導員による啓発・指導については、円滑に活動を行うための手段として啓発グッズの配布を行っており、これらの活動がポイ捨て防止等に有効であることから、活動内容をSNS等を通して積極的に周知を行い、また、啓発看板についても、町内会等を通し積極的な配布に努めていく。 ポイ捨て防止は、快適な生活環境を維持や、全世界的に問題となっているマイクロプラスチックの流出防止にもつながることから、ポイ捨て等防止指導員の活動だけでなく、上下水道局が行う市民参加型の水源地清掃プロジェクトをはじめとしたごみ拾いに積極的な団体等にごみ回収袋を提供し、また、郡山市が後援する企業等が行う市民参加型ごみ収集イベントで啓発グッズを配布することにより、ポイ捨て問題に関する意識高揚を図る。	

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）

気候変動対応	D X（デジタル市役所）	部局間協奏
○		○

### 4 二次評価

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		2
2 公平性		4
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4

1 規模・方法の妥当性

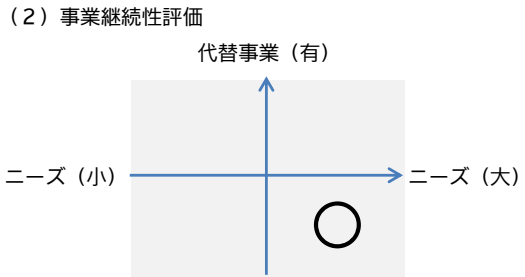
4 公平性

3 効率性

4 活動指標（活動達成度）

5 成果指標（目的達成度）

0



改善	二次評価コメント
令和6年度は、啓発看板の配布についてウェブサイト等でPRを強化し、前年度を上回る配布枚数となった。ポイ捨て等指導員による啓発活動も積極的に実施し計画値を上回った。しかしながら、本事業はポイ捨て等指導員の活動を重点区域のみとしており、重点区域外への課題に対する活動が希薄となっている。活動指標に基づき事業を展開しているものの、課題に対し限定的な活動になっているため、広域的に効果のある活動へ見直しが必要である。また、令和6年度は企業が開催したごみ拾いイベントが好評を得ており、今後は企業や学校と連携したイベント等において、ポイ捨て問題に対する市民の意識醸成が図られる、より効果的な事業手法について検討が望まれる。 なお、事業の検討に当たっては、活動の効果分析を行うなど根拠に基づき施策を立案することで、事業の改善を図る必要がある。	

#### （参考）令和6年度カイゼンのための行動計画

- (1) 具体的なカイゼン策  
①重点区域の更なる巡回監視強化の検討…重点区域である郡山駅前や開成山公園でのごみ収集イベントのみならず環境啓発イベント開催時に、きっかけとなるグッズを手渡ししながらの啓発活動を行うとともに、巡回監視を行う。  
また、活動の様子をウェブサイト等で積極的にPRを行う。なお、指導員の服装については、季節を問わず使えるビブスを装着し活動を行うことを検討する。  
②民間企業との協奏により、「きれいなまちづくりと環境保全」に対する市民の意識高揚の検討…市民による自主的な清掃活動を積極的に支援するため、市が後援する市民参加型清掃イベント等において、啓発グッズを積極的に配布し、また、ポイ捨て防止啓発ごみ袋の配布数を増やすことにより市民の意識の自発的な高揚と周知を推進する。  
(2) カイゼンの明確な時期  
①ポイ捨て等防止指導員の選考が令和6年10月となることから、11月から実施する。  
②今後、清掃活動や市民参加型清掃イベントの後援申請があり次第、随時実施する。  
(3) カイゼンのために必要な事項・関係する所属  
環境部各課や郡山駅前広場及び開成山公園の所管課から、イベント情報を取得する必要がある。